

●目の不自由な子どもの開眼手術などを支援していた在日米軍極東放送の軍属口パート・ニーマンさんが、帰国時に支援事業を読売新聞社に託し、財団法人「読売光のプレゼント協会」が設立される



皇太子ご夫妻に挨拶するニーマンさん (1971年7月26日の読売新聞から)

●財団法人読売光と愛の事業団設立。愛のプレゼント協会と光のプレゼント協会が合併。初代理事長に務台光雄読売新聞社社長が就任



「読売光と愛の事業団」設立の社告 1971年9月5日

●元女優で実業家の山路ふみ子さんの寄付をもとに、東京・目白に「山路ふみ子記念・読売ボランティアセンター」を開設。視覚障害者のための点訳・朗読ボランティアの拠点となる。2020年に大塚に移転



山路ふみ子さんも参加して行われた開所式 (1991年4月25日の読売新聞から)

●巨人軍・松井秀喜ホームラン基金設立。松井選手がホームランを打つたびに製作されるテレホンカードの売り上げなどを原資に小規模作業所助成。2007年までに9回、総額3130万円助成



ホームランを放つ読売巨人軍の松井秀喜選手

●財団法人から社会福祉法人に組織変更。初代理事長に水上健也読売新聞社社長が就任

●読売新聞中部支社内に中部支部を設立

●重症心身障害児施設への研究助成を「あすへの療育」と名称変更。34回にわたり、414件、総額1億8000万円を助成



重症心身障害児への訓練に取り組むスタッフ (第33回あすへの療育最優秀賞を受けた広島県のわかば療育園で)

●新潟中越地震。災害救援募金に6億6100万円が集まる

●第1回読売福祉文化賞発表



2007年12月17日 読売新聞

●東日本大震災。災害救援募金29億4784万円を集め、義援金として被災自治体に贈る。その後の寄付で福祉施設への助成や被災者の進学支援の奨学金など被災者支援事業を展開



●「子どもの貧困」の解消を目指した「子ども育成支援事業」開始



鹿児島県沖永良部島で学習支援活動に取り組む子ども育成支援事業で助成を受けた「NPO法人心音」(2019年)

●東京コロナ医療支援基金を開設。7月に全国コロナ医療福祉支援基金に衣替え。医療従事者らの支援を呼びかける。2022年2月末までに3億3900万円が寄せられた



復興支援大学等奨学金5期生とOBとの交流会 (2017年、仙台市内で)



●読売光のプレゼント協会内に角膜提供を行う読売アイバンクを設立。日本で4番目のアイバンク



昭和30年代の角膜移植手術

●愛のプレゼント協会が財団法人に。全国各地の重症心身障害児施設に「愛のプレゼント研修奉仕団」(1992年からは「ボランティア研修奉仕団」に名称変更)の派遣を8月に開始。春、夏の年2回、高校生ら若者を募集して派遣、泊まり込みで寝たきりの重症の障害児を手助け。2004年まで68回派遣、延べ1万3833人が参加



ボランティアの若者が障害児を手助ける「愛のプレゼント研修奉仕団」(1972年、北海道小樽市内で)

●地道に福祉活動をする地域の団体を表彰する「第1回福祉活動奨励賞」を発表。2000年まで20回、830団体を表彰

●無料で眼科検診・診療を行う「南洋諸島眼科医療団」派遣事業開始。2001年まで19回派遣



患者を診察する南洋諸島眼科医療団の山本由記雄団長 (1996年、パラオ共和国で)

●読売新聞西部本社内に西部支部を設立

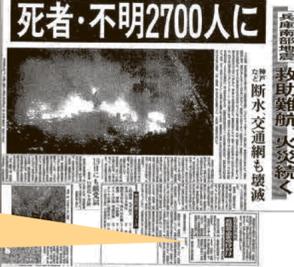
●雲仙・普賢岳の大規模火砕流発生。災害救援募金に3億4165万円が集まる

●小林与三次読売新聞社社長が理事長就任



●北海道南西沖地震。災害救援募金に4億125万円が集まる

●阪神大震災。災害救援募金で40億8239万円が集まる



災害救援募金受け付け社告 1995年1月18日

●読売光と愛・郡司ひさる奨学金基金を設立。郡司さんの寄贈遺産をもとに、児童養護施設から大学などに進学する学生に返済不要の奨学金支給を開始



交流会に参加した郡司奨学生ら。仲間が制作した作品を記念にもらい、にっこり (2004年、読売新聞東京本社内で)

●福祉分野で創造的な業績を上げた個人や団体を顕彰する第1回「読売フルデンシャル福祉文化賞」発表。2007年に「読売福祉文化賞」に改称

●海外ボランティアをマレーシア・ペナン島の知的障害者作業所へ派遣。国内の重症心身障害児施設へのボランティア派遣終了を踏まえ、経験者を海外へ。2008年まで6回派遣



コンクリート打ちに汗を流すボランティアたち (2004年の第2回海外ボランティア研修。マレーシア・ペナン島で)

●財政破たんした北海道夕張市の市民を応援する「がんばれ夕張一北の大地応援募金」を実施

●読売新聞北海道支社に北海道支部を設立

●川崎市多摩区に特別養護老人ホーム「よみうりランド花ハウス」を開設。160の個室を備え、日中は共有スペースで他のお年寄りや交流し、夜間は個室でゆったりと過ごせるユニットケアを行う最先端の施設



オープンした特別養護老人ホーム「よみうりランド花ハウス」(2005年)

●重症心身障害者施設で働く職員の優れた実践研究に贈る「読売療育賞」の第1回受賞者決定。「あすへの療育」の終了(2006年2月)を踏まえて新設

●元法相の長尾立氏氏が理事長就任

●花ハウスのサテライト施設「すみれ館」開設

●介護老人保健施設「よみうりランドケアセンター」(川崎市多摩区)を統合



●元厚生労働次官の水田邦雄氏が理事長就任

●熊本地震。災害救援募金に2億979万円。その後の寄付をもとに、東日本大震災の被災者支援と合わせ被災者支援事業を続ける



●がん患者在宅療養支援事業を開始

●災害ボランティアの初動資金を助成する「災害ボランティア登録」制度を創設



災害ボランティア団体に登録された「愛・知・人」によって行われた被災家屋のブルーシート張り (2019年、千葉県内で)